

令和6年度人権講演会

生きることの、もうひとつの意味 ～小説「あん」でハンセン病回復者の人生を描いた理由～

近年、新型コロナウイルスやエムポックス等の感染症の拡大が続き、それによる偏見や差別が問題となりました。今回の講演会では、著書『あん』の内容を中心に、ハンセン病回復者との交流を通じて講師が感じた「生きること」について、ご講演をいただきます。

講師 ドリアン助川 さん

(作家、歌手、明治学院大学国際学部教授)



【講師プロフィール】

早稲田大学第一文学部哲学科卒。長野パラリンピック大会歌『旅立ちの時』作詞。

著書である小説『あん』(映画化/カンヌ国際映画祭ある視点部門オープニング上映)は現在 24 言語に翻訳されている。2017 年、同作がフランスの「DOMITYS 文学賞」と「読者による文庫本大賞」など4冠を得る。

日時 令和7年1月31日(金)

午後 1 時 30 分～午後 4 時(午後1時から受付)

会場 越谷コミュニティセンター・小ホール

入場無料

※ 当日、直接会場にお越しください。

講演会 午後 1 時 40 分～

※手話通訳・要約筆記あり

※講演会后、人権ドラマ

「大切なひと」を上映します。

【「大切なひと」あらすじ】 ネット社会における部落差別と人権をテーマにしたドラマです。誰もが一人の人間として尊重される社会の実現を目指す内容となっています。